

報道関係者各位

2026 年 8 月 19 日

玄関と「ヌック」を連携、子どもの自立と家事負担軽減を叶える住まい

「第 20 回キッズデザイン賞」受賞

ケアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役／塙 圭二、以下「当社」）は、この度「第 20 回キッズデザイン賞」（主催／特定非営利活動法人キッズデザイン協議会、後援／経済産業省、内閣府、消費者庁、こども家庭庁、東京都）において、子どもたちの自立と家族のゆとりを生み出す住宅提案「リマインドヌック-現代の多忙な生活を支える『住まいの OS』アップデート」にてキッズデザイン賞を受賞いたしました。当社としては、キッズデザイン賞の受賞は通算 7 回目となります。



左：「リマインドヌック」を採用した物件外観 右：家族が集う広々としたリビング空間

受賞作品

< 受賞部門 >

出産・子育て支援部門

< 受賞商品 >

リマインドヌック-現代の多忙な生活を支える「住まいの OS」アップデート

< 受賞商品概要 >

子どもが自然と片付けや翌日の準備を習慣化できる住宅空間「リマインドヌック」を計画。リビング学習に伴う散らかりや忘れ物、親のサポート負担といった課題に対し、玄関とヌック（小空間）

を面一のカウンターで直結させる動線設計により、荷物の移動や準備がスムーズに完結する環境を実現した。子どもの自立心を育むとともに親の「名もなき家事」やストレスを軽減するこの空間は、現代の多忙な家族の暮らしを支える新しい住宅のモデル（住まいの OS）として提案する。

< 物件概要 >

物件名：リマインドヌック-現代の多忙な生活を支える「住まいの OS」アップデート

所在地：東京都練馬区関町南

敷地面積：116.93 m²

延床面積：112.82 m²

「リマインドヌック」開発の背景とポイント

共働き世帯の増加やライフスタイルの変化に伴い、リビング学習が定着する一方で、「リビングが散らかる」「子どもの忘れ物が減らない」「親の後追い片付けがストレスになる」といった悩みが顕在化しています。当社では、これらの原因が個人の意識ではなく「玄関と個室・学習場所が分断された間取りの構造的問題」にある点に着目いたしました。

① 「置く・取る」だけで準備が整う玄関とヌックを繋ぐカウンター

玄関の靴箱とヌックのデスクが面一（ツライチ）のカウンターで繋がっており、学習後に翌日の荷物をまとめて玄関側へスライドさせるだけで準備が完了。無意識に行動できる動線で忘れ物を防止します。

② 衛生・帰宅動線のコンパクト化

玄関ホールに手洗い水栓を配置し、「帰宅→荷物を置く→手洗い→ヌックで宿題」という正しい習慣が無理なく身につきます。

③ 家族の気配を感じる心理的安全性

ヌックはリビングにも面しており、親はそっと様子を見守ることが可能。個の集中空間でありながら家族のつながりを両立します。

④ 成長に合わせた将来の変容性

子どもが成長した後は、親のテレワークスペースや趣味の書斎としてもフレキシブルに転用可能です。



左：集中して学習できるヌック空間 右上：子どもの手が届きやすい収納棚 右下：玄関側カウンターへ「置く・スライド」で準備完了

受賞コメント

デザインにおいて最もこだわったのは、広く一般に供給される「戸建分譲住宅」の標準仕様として本空間を組み込むことです。この空間が一部の注文住宅のアイデアに留まらず、建坪に制限のある分譲住宅等にも導入可能な「次世代の住まいのニューノーマル（標準仕様）」として社会に認知されること、そしてキッズデザイン賞という信頼ある評価をいただくことで、「家族の笑顔と心理的安全性を育む住まいのOS」としての価値を発信し、日本中の子育て世帯の日常を豊かで健やかなものへと変えていく原動力にしたいと強く願っています。

キッズデザイン賞とは

キッズデザイン賞は、「子ども自らが次の社会づくりに参画する」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもたちが安全・安心に日々を暮らせる」「誰もが当事者として子育てに参加する」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に 2007 年に創設されました。

子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象です。

<https://kidsdesignaward.jp/>



KIDS
DESIGN
AWARD
2026

■ ケイアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適なくらしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質、だけど低価格なデザイン住宅』を供給しています。

仕入から販売までを一気通貫で行う、「KEIAI プラットフォーム」と「コンパクト戸建住宅」という独自のビジネスモデルによって、分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で戸建分譲事業を展開販売(※)しています。2026 年 3 月期の売上高は 3,939 億円 (※グループ連結数。年間 9,489 棟(土地含む)を販売)。

【会社概要】

社 名 ケイアイスター不動産株式会社 (コード番号：3465 東証プライム市場)

代 表 代表取締役社長 塙 圭二

所在地 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1

資本金 4,828 百万円 (2026.3.31 現在)

設 立 1990 年 11 月

従業員数 2,897 名 (連結 / 2026.3.31 現在)

U R L <https://ki-group.co.jp/>

事業内容 分譲住宅事業、中古住宅再生事業、注文住宅事業、ストック事業、アパート事業、収益不動産事業、分譲マンション事業、フランチャイズ事業、海外事業 ほか

【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 広報室 広報課

TEL：03-5299-7575 FAX：03-5299-7562 E-mail：press@ki-group.co.jp